

(第3回食と漁の地域未来フォーラム)

# 全国クロマグロ漁師サミット in 大間

沿岸クロマグロ漁と家族漁業の地域未来づくり

共催：JCFU 全国沿岸漁民連絡協議会

- ・大間町・大間町商工会・大間町観光協会・下北北通り鮪延縄協議会
- ・大間漁協・奥戸漁協・大畑まぐろ部会・三厩まぐろ一本釣り部会
- ・松前さくらマグロはえなわ部会・福島吉岡まぐろ部会
- ・津軽海峡まぐろはえなわ船団（戸井・恵山）

後援：NPO 法人 21 世紀の水産を考える会

- ・家族漁業を支援する研究者・文化人の会

と き：2019 年 4 月 27 日（土）13:00～16:30

ところ：北通り総合文化センター「ウイング」大ホール

大間町大間字内山 48 番地 164 電話：0175-32-1111

参加自由 資料代：1000 円（マスコミ自由取材）

## プログラム

### ■オープニングセレモニー

「津軽海峡海鳴り太鼓」

### ■主催者挨拶：高松幸彦（JCFU 共同代表） 13:00-13:30

坂 三男（大間漁協組合長）

### ■来賓挨拶：金澤満春（大間町長）

笹渡義夫（農民運動全国連合会会長）

生田喜代子（日本の伝統食を考える会世話人）

### ■記念講演 13:30-14:00

小規模家族農業・漁業こそ食糧生産の主人公

スタートする国連「家族農業（漁業）10 年」

ポリコ・M・チャールス

（国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所所長）

### ■報告： 14:00-14:20

クロマグロの資源動向と小規模沿岸漁業の枠拡大

二平 章（茨城大学客員研究員・JCFU 事務局長）

■紹介： 14:20-14:30  
大間マグロと漁師文化を生かした観光まちづくり  
島 康子さん他、津軽海峡マグロ女子会の皆さん

■リレートーク：全国クロマグロ漁師大集合 14:30-16:45  
沿岸クロマグロ漁業の未来へ向けて  
報告予定

長崎県壱岐地区  
長崎県対馬地区  
千葉県外房地区  
青森県大間地区  
青森県三厩地区  
北海道戸井地区  
北海道焼尻地区  
その他、参加者

司会：二平 章

■「大間アピール」:沿岸クロマグロ漁業の未来に向けて

■閉会挨拶

■第2部：全国参加者歓迎レセプション 17:30-19:00

会 場：大間町内（会場は当日受付でお知らせします）

参加費：3,000円

●全国沿岸クロマグロ漁民代表者会議

兼 JCFU 全国代表者会議

とき：4月27日 9:30～12:00

ところ：北通り総合文化センター「ウイング」視聴覚室

議題：1. TAC規制下における各地のクロマグロ操業の問題点  
2. クロマグロ漁獲規制に対する水産庁要望行動・内容事項の検討  
3. 改訂漁業法の沿岸漁業影響と今後の対応  
4. 小型イカ釣り漁業に関する全国要求および集会開催について  
5. その他

会場の「ウイング」には食堂がありません。午前中からの会議参加者は

昼食を各自手配ください。

問い合わせ：JCFU 全国沿岸漁民連絡協議会事務局

事務局長 にひら 電話080-3068-9941

メール：anihira@cocoa.ocn.ne.jp

千葉県勝浦市松部1963の2 千葉県沿岸小型漁協内

■参加予定者の皆さんへ

- 4月27日（土）はゴールデンウィークのスタートになりますので、宿泊の予約などは早めをお願いします。
  
- 大間町の宿泊施設の一覧とアクセスマップを同封しますのでご活用下さい。

## 「クロマグロ漁師サミット in 大間」の開催を応援します。

### 家族漁業の未来づくりを支援する研究者・文化人の会

#### ●よびかけ人・賛同者

- 川崎 健 (東北大学名誉教授) 水産資源学 (2016年逝去)
- 大海原 宏 (東京海洋大学名誉教授) 漁業経済学
- 長谷川健二 (福井県立大学名誉教授) 漁業経済学
- 東 幹夫 (長崎大学名誉教授・岩手県震災復興会議) 水域環境生物学
- 鈴木宣弘 (東京大学教授) 農業経済学・国際農業論
- 綱島不二雄 (山形大学名誉教授・宮城県震災復興会議議長) 農業経済学
- 横山英信 (岩手大学教授) 農業経済学
- 杉本隆成 (東京大学名誉教授) 海洋学
- 平本紀久男 (元・千葉県水産試験場部長・「私はイワシの予報官」著者) 魚類生態学
- 濱田篤信 (元・茨城県内水面水産試験場長) 水域環境学
- 佐々木克之 (北海道自然保護協会副会長、元中央水産研究所室長) 水域環境学
- 澤藤統一郎 (弁護士)
- 笹渡義雄 (農民運動全国連合会会長) 食糧政策論
- 門目省吾 (元・NHK 農林放送ディレクター) メディア論
- 福田 仁 (高知新聞記者) 地域漁業論・ジャーナリスト論
- 生田喜代子 (日本の伝統食を守る会事務局長) 食文化論・消費者論
- 栗原澄子 (日本の伝統食を守る会東京代表) 食文化論・消費者論
- 中瀬勝義 (海洋観光研究所代表・技術士(応用理学、建設、環境)) 海洋観光政策論
- 山本浩一 (静岡県定置協会元専務・21世紀の水産を考える会元代表) 水産政策論  
(2018年逝去)
- 二平 章 (北日本漁業経済学会会長・日本カツオ学会役員) 水産資源学・魚食文化論

#### ●会の設立趣旨

日本漁業の主人公である家族漁業の経営と漁村の地域経済を守るため、沿岸や河川・湖沼の家族漁業や漁協、漁村などがかかえる流通経済や水産資源、環境保全、地域づくり問題など、自然科学、社会科学的な諸問題に対し、研究者・文化人の立場として漁民とともに考え、地域の漁業者や漁業者団体の相談に協力しながら、日本の家族漁業そして漁村地域の未来づくりを支援する。

(本会は2015年JCFU全国沿岸漁民連絡協議会の設立に合わせて結成されました)